

第6回 木曽岬町活性化委員会 議事録

日時/場所	2016年10月21日(金) 19:00~20:40 木曽岬町役場福祉教育センター2階 第3協議会室
参加者	<p>木曽岬町 事務局：山北教育長、西川教育課長、宮前係長兼指導主事 活性化委員：安田委員長、小森副委員長、星野委員、柴田委員、諸戸委員、 大橋委員、中川委員、武石委員、松下委員、加藤委員 アドバイザー：株式会社リブネット 永野、高橋</p>
議事・議題	回答
1. サポーター制度について	<p>◆サポーター制度については平成29年6月募集開始予定。 「本の整理・利用案内」「学習支援」「読み聞かせ」「館内環境整備」「展示」の5つを募集することを考えている。本の整理・利用案内については様々な支援があるので、すべてを行ってもらうではなく、一部の募集やそれぞれの募集も検討している。(事務局)</p> <p>◇「学習支援」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 休日と平日、どちらをメインに支援を行うのか(委員長) 土曜チャレンジとは別のものなのか。(委員) 学校帰りの利用などをどのように対応するのか。現在は一度帰宅してからというルールになっている。また、防犯面や責任の所在、どこまで教えるかという問題についても難しい。学校など他の施設でも、放課後の支援なども行っているので、図書館でやらなければならないということはない。(委員) <p>◇「館内環境整備について」</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置箇所や数、備品の用意など、ある程度イメージを持つべきである。(委員長) 園芸ボランティアなどが活発なので、図書館からの声かけが必要。また、いい特色にはなると思う。鉢植えは水やりが必要なので、サポーターだけでは、難しいのではないかと思う。 館内環境整備ではなく「花サポーター」という名称が良いのではないか。(アドバイザー) 開館予定をもう少し具体的な記載にする方がイメージがわいて良い。(委員長)
2. 「わたしのオススメするこの一冊」について	<p>◆250字程度の掲載イメージをつけて、広報に掲載する予定である。また、募集については、一次募集だけでなく、二次募集を行うことも検討している。プロフィールについては、掲載を希望しない方もいるため、名前だけでなくペンネームを設け、出来る限り項目を少なくした。また、子ども用のものを保護者の確認の上としたのは、子どもだけの判断ではそのまま掲載することが難しいものもあるためである。</p> <p>◇記名、募集範囲について</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生は学校名を記載できるようにした方が良い。また、自治会名を書くのも良いのではないか。(委員長) ペンネームは奇抜なものもあり、イニシャルでも良いのではないか。(委員) 自治会、勤務先名などは必要なのか。また、在勤の場合はどうするのか。(委員) 著名人の協力は数が限られるが、自分のものと著名人が一緒に冊子に掲載される面白み、インパクトがある。(アドバイザー) <p>・最初のうちは休日を考えている。(事務局) ・土曜チャレンジとは別で考えている。(事務局) ・まずはサポーターとして常設ではなく、イベントとして実施をしても良い。(アドバイザー)</p> <p>・実施時期等も含めて検討が必要。サポーターの募集内容からは削除を行う(事務局)</p> <p>・やって下さる方がいるのであれば、備品は図書館で用意してやってもらうと良い。(アドバイザー) ・清掃に関してはシルバーさんにお願いする可能性もあるので削除を行う。花に関しては、すでに声をかけている方もいる。また、水やりなど、一部の文章の修正を行う。花だけではわかりづらいので、説明に生け花など具体的な説明をつける。(事務局) ・全会一致。 ・平成30年1月開館予定との記載が良い。(アドバイザー) ・サポーターについては、次回までにアドバイザーにも相談を行い、話を詰める。(事務局)</p>

<p>◇構成・形態について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校正はどのように行うのか。(委員) ・完成した配布はどのように行うのか。現在の記載は、ないように よっては誤解を招く恐れがある。(委員) ・形式、構成、掲載順についてはどうするのか。大人と子どもの掲載の違いはどうするのか、学生は学年を載せると良い。(委員) ・字数について、現在のものでは多いのではないか。簡潔明瞭な方が良い。(委員長) 	<ul style="list-style-type: none"> ・追記、削除は作者の意図を変える可能性があり難しい。誤字脱字、不適切表現の削除のみを行う。(アドバイザー) ・来館プレゼントとして配る予定である。(事務局) ・製本ではなく、冊子の形が良い。また、構成については応募数により、表紙画像の許諾をとって掲載するかも変わってくる。掲載順は年代層別にし、学生は学年別にしても良い。(アドバイザー) ・書きなれない人には、本好きでも簡潔な記載は難しい。紹介文としてのクオリティは低くとも味があり良いと思う。(アドバイザー) ・字数は200字以内として募集をしていく(事務局)
<p>3. プレイイベント実施について</p> <p>◆新図書館の周知だけでなく、サポーターに興味を持つきっかけとなるように、本のフィルムコーティングについてのプレイベントを行った。委員からも2人の参加があり、また親子での参加が多く、楽しんでもらえた。今後も継続したプレイベント実施を検討している。(アドバイザー)</p> <p>◇実施回数・内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレイベントの実施回数について、1回だけは行きたくともなかなか予定が合わず行けない人もいると思う。同じものを数回やってほしい。同じものを実施するときは、サポーターの仕事内容など具体的に話をしてもらえると良い。(委員) ・予算はどの程度で実施しているのか。(委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・思い入れのある本を持ってくる方が多かったので、持ってきた本に関するエピソードを話す時間を設けてもよかったです。(委員) ・今年度は今後もコメントカード作成や読み聞かせなど、サポーターにつながる内容にしていきたい。オープンが近づくにつれ、イベント性の高い華やかなものにしたい。同じものを実施することは検討する。サポーターについて概要は伝えられるが、具体的な内容は定まってからとなる。(アドバイザー) ・どんなイベントを行うにしてもアドバイザー業務全体の金額の中でやっており、追加の金額は発生しておらず、材料費等も当社で負担している。(アドバイザー)
<p>3. 開館までのスケジュールについて</p> <p>◆開館は平成30年1月予定で、開館までのスケジュールについては資料の通りに考えている。</p> <p>以前話の出た図書館名については、委員会で決定するものではないという意見もあるので、ご承知おきください。</p> <p>今後は利用カードのデザイン募集なども考えている。町内の写真を公募してカードにする予定である。利用登録はオータムフェスタなど、開館前のイベントでも行いつきたいと考えている。</p> <p>現段階ではあくまでも予定であり、決定事項ではない。(事務局)</p> <p>◇サポーターについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター研修は何回やる予定なのか。(委員) <p>◇プレイベントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選書ツアーハイツ行うのか。(委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の回数は決めていないが、第1回目は全サポーターに集まつていただき、今後の活動についてお話をさせていただきたい。その後、サポーターにお願いする業務内容ごとに分かれて研修していただければと考えている。(教育長) ・実施するのであれば、平成29年の夏か秋頃に行うのが良いと考えるが実施自体が決定事項ではない。(アドバイザー)

以上です。

■次回活性化委員会開催日程について 平成29年2月予定。